

## 第4回 豊明市文化財保護委員会会議録

日時：平成28年3月10日（木）午前10時00分～12時00分

場所：豊明市役所本庁舎 東館3階 教育委員会室

出席者：浅井委員、成田委員、三浦委員、村野委員、佐野委員、近藤委員、鈴木委員

事務局：市野教育長、樋口課長、塚本課長補佐、岸田専門員、神谷社会教育指導員

傍聴人：なし

### 1 委員長あいさつ

### 2 協議事項

#### (1) 平成28年度 文化財保護委員会事業計画の承認について

- ・ 昨年に引き続き、指定文化財候補（沓掛城址の市指定・大狭間湿地の県指定等）の検討・審議を重ね、文化財保護委員会で答申を行う。
- ・ 国指定史跡 戦人塚の土砂流出に伴う整備計画について審議を行う。
- ・ 一之御前安産水の湧水復元のため地下水を引っぱり上げるためのボーリング調査について文化財保護委員会で協議を行う。

#### (2) 平成28年度 大狭間湿地保全計画の承認について

- ・ 保全整備委託を結ぶ豊明自然観察会からの保全計画書が提出され、承認される。今年は湿地作品展を止め、10月1日にも一般公開することで、季節限定の花が見れる機会をつくる。
- ・ 報道機関にお願いしてより多くの人に見てもらえる機会をつくるとよい。

#### (3) 戦人塚整備計画について

- ・ 平成29年に測量と改修整備を行う。審議会を文化財保護委員会で開き、史跡整備部門と考古学部門の方にそれぞれ委員として入っていただく。2年間の任期とする。5月10日の審議会で文化庁職員、県職員もオブザーバーとして入り、現地調査を行った後、整備方法の協議に入る。
- ・ 史跡地内における植物相の復元や、土砂の搬入先、落ち葉の始末についても協議しておくべきである。
- ・ 阿野一里塚北側の土砂が削られてきており、次の段階で検討する。

#### (4) 一之御前安産水調査について

- ・ ボーリングによって湧き出た史跡地内の地下水は飲めなくても安産水と認める。氏子さんが了解であればボーリング調査を進めていく方向で検討したい。

(5) 指定文化財の選定及び候補について

- ・沓掛城址の市指定について5月11日に臨時の委員会を開き講師として南山大学名誉教授の伊藤秋男氏を迎えて講演と現地説明を行う。調書作成のための検証を行い5月末までに提出する。
- ・大狭間湿地の県指定に向け、平成29年度に土地取得の方向で進める。来年度は測量を実施する。
- ・歴史的建造物の保存については所有者の意向を取り入れて了承されることが必要であり、市独自の登録文化財制度の素案づくりをする必要がある。まずは、国登録有形文化財制度を基準として他市町の状況を参考にしながら委員長と三浦委員で作成する。

(6) 視察研修について

- ・9月16日(金)を候補日とし、その他14日(水)か15日(木)で調整する。視察先は阿久比町の板山高根湿地、半田市の半田赤レンガ建物、半田市立博物館、東海市の平州記念館とする。

3 その他

- ・平成28年度企画展は「(仮称)おまん和祭り」、29年度企画展は「(仮称)街道」を計画。
- ・6年後の50周年記念誌の発刊に向けて内容を検討し、準備する必要がある。その際、当時の文化財保護委員の名前が分かるようにするとよい。
- ・平成28年度広報特別号掲載記事については三浦委員が大狭間湿地について執筆を行う。8月号に1ページ分掲載する。

■ 次回文化財保護委員会

平成28年5月10日(火) 午後13時30分から

平成28年5月11日(水) 午前10時から